

ILAC 科目の目的と内容

※ 履修上の注意は P. 学部一 (19) ～を参照してください。

ILAC科目100番台～300番台／0群～5群の履修について

ILAC(アイラック)科目は半期(春学期・秋学期)ごとに授業を完結する Semester 制を採用しており、科目名の後に「I/II」、「A/B/C/D・・・」と表記します。成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していきます。科目名称によって、以下のような特徴があります。履修計画の参考としてください。

- ①「I/II」とは、連続履修することで、より理解が深まるとされる科目を示しています。IIについてはIを履修していることが前提となっている科目もあるので、履修登録前に、必ず Web シラバスで確認してください。特に外国語科目(必修および選択科目)は、原則としてI/IIを連続履修することが前提とされていますので、注意が必要です。
- ②「A/B/C/D・・・」とは、「I/II」のように履修の順次性を問わない科目を示しています。例えば、「〇〇学A」と「〇〇学B」では、「〇〇学B」は必ずしも「〇〇学A」の履修を前提としていません。「〇〇学A」と「〇〇学B」とで、異なる分野の学習を通じて、相互の理解を深めることができます。
- ③ リベラルアーツ科目は、科目名の後に「L」が付きます(例：□□学 L I /L II、△△論 LA/LB/LC/LD・・・)。これは、基盤科目との違いを明示するものです。リベラルアーツ科目には、基盤科目を履修していることが前提になっている科目もあります(例：倫理学 L I は、倫理学Iの内容をさらに発展させて学ぶ)。履修登録前に、Web シラバスで必ず確認し、計画的な学習を心掛けてください。

Web シラバスでは、授業内容詳細を全て確認できます。履修前 Web シラバスを確認しましょう。

単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。

ただし、I と II、A と B、A と LA 等は異なる科目です。例えば、〇〇学 A と 〇〇学 LA であれば、どちらも履修することができます。科目名称のルールを理解し、計画的に履修してください。

なお、以降の説明では、特別な場合を除き「I」「II」(または「III」「IV」)等の記述を省きます。

(1) ILAC 科目修得により目指すもの

ILAC 科目は、人文科学・社会科学・自然科学・情報科学・外国語・保健体育・キャリアデザインなどの各分野をバランスよく学ぶことによって、社会や世界で活躍するために必要な、幅広い知識や柔軟な思考法、自主的に課題を発見しそれを解決する力や文章作成能力、他者との円滑なコミュニケーション能力など、真の意味での「教養」を身につけるために開設されています。基礎力を養成する基盤科目から、応用・発展的なリベラルアーツ科目、専門性の高い総合科目など、段階に応じて多様で体系的な学修が可能となります。

(2) ILAC 科目のカリキュラムについて

各科目には次のような番号(ナンバリング)が付されています。これは「学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するための仕組み」です。

100 番台には、基盤科目・外国語科目・選択基盤科目が設置されています。大学生としての基本的な学問への臨み方、および各分野の知識・考え方を身につけ、大学4年間の学習の土台づくりを行うことを目的としています。

200 番台には、リベラルアーツ科目と外国語科目が設置されています。リベラルアーツ科目では、基盤科目の内容をさらに発展、または専門的にした授業が開講されており、皆さんの興味に応じて、教養を深め、視野を広げることができます。また、外国語科目では、1年次に履修した語学のスキルや教養としての外国語をさらに向上させます。

300 番台には、総合科目・教養ゼミが設置されています。100 番台・200 番台の科目の学びをさらに発展させ、真のリベラルアーツの修得を目的としています。少人数で開講される教養ゼミでは、教員や受講生との議論・学び合いを行うことができますでしょう。


移り変わりの激しい時代を生きる私たちには、学問の壁を越えて、柔軟な発想で知識・考え方を取り入れ、直面する問題を打開し、自由な世界を切り開いていくことが必要です。リベラルアーツとは単に教養科目を意味するものではなく、自由な世界を切り開く知識・考え方、それを修得する力を示します。真のリベラルアーツを、ILAC 科目で修得していきましょう。

科目名称	基盤科目	外国語科目	選択基盤科目	リベラルアーツ科目	外国語科目	総合科目・教養ゼミ
分野	1・2・3・5群の科目	4群(英語、諸外国語)の必修科目	0群の科目	0～5群の科目	4群・選択外国語	1～5群の科目
科目	日本古典文学A/B 社会学I/II 入門生物学A/B等	English1 I/II English2 I/II ○○語1 I/II ○○語2 I/II	基礎ゼミ、情報処理演習I キャリアデザイン入門 法政学への招待等	日本史I I/II 地理学LA/LB フランスの文化と社会 LA/LB 健康の科学LA/LB等	English3 I/II ビジネス・イングリッシュ I/II ○○語3 I/II ○○語4 I/II 中国語コミュニケーション 基礎 I/II	美術論A/B 人間行動学A/B 集合論A/B 教養ゼミ(各教養ゼミごとにテーマあり)など
概要	教養(リベラルアーツ)・専門学部の学びの基盤となる、人文科学・社会科学・自然科学のそれぞれの学問分野における基礎的な知識と基本的な考え方、および保健体育科目をバランス良く学びます。	大学の初年次生として必要な基礎的な語学力を養うと同時に、異文化や世界の情勢への理解を深めるため、英語をはじめ諸外国語(ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語)をバランス良く学びます。	既存の学問分野にとらわれない汎用性のある知識や技能を身に付けるため、基礎ゼミや情報処理、就業力育成など、初年次に修得すべき科目を学びます。法政学では法政大学の歴史や現状について学ぶことができます。	基盤科目で修得した基礎的な知識の上に、さらに深い教養を身につけます。各学問分野をより高度に、フランス良く修得するとともに、専門科目の枠組みに縛られない体系的・学際的な学びを可能にします。	学生の選択に基づき、より高度な語学力や異文化理解力の向上を目指し、現代のグローバル社会に通用する国際感覚を養います。英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語の全てが開講されています。	リベラルアーツ科目と連動した発展的な学びから、単独で完結する学びまで、多様な科目を配置し、真のリベラルアーツの修得を目指します。教養ゼミではゼミナール形式で、学部専門科目とは異なる高度な学びを実現します。
年次	100番台 ※1 (1年生以上)		200番台 ※2 (1・2年生以上)		300番台 ※3 (2年生以上)	

- ※1 100 番台・・・主として基礎的な内容の科目を意味しています。
- ※2 200 番台・・・主として応用的な内容の科目を意味しています。
- ※3 300 番台・・・主として発展的な内容の科目を意味しています。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、Web シラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。

URL : <http://www.hoseikyoku.jp/ilac/index.html>

カリキュラム・マップ	ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているかなどを図で示したもの	

(3) 各分野の概要について

ILAC 科目0群

ILAC 科目0群を開設する目的は、ILAC 科目の1群から5群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

- ・「大学を知ろう <法政学>への招待」(2018 年度まで「法政学への招待」)、「法政学の探究」は法政大学の歴史と現状を知ることで、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るための科目です。
- ・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身につけるために、授業で何のように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。

ILAC 科目1群(人文科学分野)

1群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもっています。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の3分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通して、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

ILAC 科目2群(社会科学分野)

2群の開講科目は、「法学」「政治学」「マクロ経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の8分野です。

これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、特にリベラルアーツ科目を通じてそれぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問いを考えていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

ILAC 科目3群(自然科学分野)

3群は、さまざまな自然科学の授業によって構成されています。

基盤科目では、自然科学の学習に必要な基礎的知識を習得します。リベラルアーツ科目では、さまざまなテーマを発展的に学習します。さらに、専門科目である総合科目や教養ゼミを通して、それらのテーマをより深く探求できるようなカリキュラム構成となっています。

基盤科目は、「教養数学」「基礎数学」「入門物理学」「入門化学」「入門生物学」「天文学」「科学史」および「サイエンス・ラボ」からなる選択必修科目です。いずれも、文科系の初学者にもわかりやすく学ぶことができるよう工夫されています。

リベラルアーツ科目は、「数学特講」「発展数学」「教養物理学」「教養化学」および「教養生物学」からなる選択必修科目です。各自の興味に合わせて発展的な学習を行ってください。

なお、基礎数学および発展数学は順次性のある科目です。Ⅰ→Ⅱの順に履修することが望まれます。

3群の履修を通して、学生の皆さんが自然科学そのものに興味を持つだけでなく、自然科学を通じたものの見方を習得し、各自の専門分野における学習・研究に役立てることが期待されています。

ILAC 科目4群(外国語科目)

4群には英語と諸外国語〔ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語(留学生のみ)〕があります。

★受講定員のある科目:春学期1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。

★春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の第1回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。

選抜結果は法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。

<英語>

ILAC 科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。

ILAC 科目のうち英語科目の構成は、100 番台必修科目(1年次・2科目)、200 番台選択必修科目(2年次・1科目)、選択科目(1～4年次)に大別されます。必修科目は、英語運用能力の向上を目指す English 1 (リーディング系) と English 2 (表現系) で、選択必修科目は、1年次に培った力を総合的に展開する English 3 (テーマ別、4技能統合型) で、いずれも習熟度別・少人数編成のクラスで行われます。選択科目は、レベル別に開講されている多様な科目のなかから、自由に選んで、1年次から履修することができます(ただし、必修科目ならびに選択必修科目の英語単位は3年次までに修得する必要があります)。

また上記の科目のほかに、さらに総合的な英語能力を伸ばすための授業として、総合科目(教養ゼミ)(2～4年次)が開講されています。総合科目は、専門科目として扱われ、修得単位は専門科目の単位となります。そのほか、グローバル・オープン科目として開講されている Intercultural Communication A～D もあります(詳しくは WEB シラバスを参照)。この4科目は200番台リベラルアーツ科目として認定されます。この4科目は200番台リベラルアーツ科目として認定されます(詳しくは WEB シラバスを参照、ただし総合科目やグローバル・オープン科目は休講となることもありますので、年度ごとに Web シラバスを確認してください)。

<諸外国語>

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

外国語科目は、必修諸外国語(1・2年次)、選択必修外国語(2年次以上)、選択外国語(2年次以上)、さらにリベラルアーツ科目と総合科目から構成されています。必修諸外国語では、大学で新しく出会う外国語の基礎を1年次に学び、その基礎力を用いて2年次にさらなる学習を続けます。また、学び始めた外国語の能力をより高めたい場合には、1年次秋に英語と諸外国語から選ぶ選択必修外国語で、諸外国語を選択すると、より多くの学習の機会を楽しむことができます。その他に、選択外国語には、「〇〇語コミュニケーション」「〇〇語視聴覚」「時事〇〇語」などバラエティ豊かな科目が設置され、さまざまなアプローチから外国語に接し、語学力の修得とともに生きた外国語の世界に触れながら4年次まで学習を続けることができます。

リベラルアーツ科目には、1年次から履修できる「〇〇語の世界 L」という入門のための科目があります。2年次から履修できる「〇〇の文化と社会 L」では、その言語が話される地域の文化や生活を広く深く学ぶことができます。総合科目では、それまでに学習した外国語の能力を十分に生かしつつ、より高度で専門的な内容を学んでいきます。また、総合科目の中には、英語と諸外国語を一つ学んだのちに、さらにもう一つの外国語の世界に触れてみたいと思うグローバルな関心を抱く学生のために「第三外国語としての〇〇語」という科目があります。

このように、法政大学では、とても多彩な外国語の世界がみなさんを待っています。

なお、選択外国語科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

ILAC 科目5群(保健体育分野)

スポーツ総合演習は、①クラス指定の週1回半期型、②自由に選択履修できる週1回半期型の2つの形式で開講されています。

①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として履修する授業の学期・曜日・時限が指定されています。②は選択科目で、いずれも学部を問わず履修可能ですが、履修希望者が多数の場合には事前のガイダンスにおいて授業ごとに抽選で履修可能者が決定されます。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を取得することが必須となりますが、5群の単位としては①、②の授業を各1回、計4単位を上限として履修・取得することが認められています。

授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験およびレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、経営学部のガイダンスの際に説明します。また、2年次以降にも選択科目の内容を深めた5群科目も用意されています。

(4) 各外国語科目の授業内容等について

各外国語科目(英語および諸外国語)の授業の目的や目標、各年次で履修する授業内容、履修パターンなどについて、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板にて紹介しています。

また、英語については、選択科目、総合科目、グローバル・オープン科目のレベルも掲載していますので、必ず確認してください。

法政ポータルサイト(Hoppii)

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>

